

北海道地域福祉学会ニュース No.40

発行日：2014年2月1日

編集：北海道地域福祉学会広報委員会（委員長 忍 正人）

全道研究大会・研究実践研究発表を開催しました

去る11月9日（土）北星学園大学を会場に開催された全道研究大会・研究実践研究発表は、本年度の学会テーマである「集落コミュニティの支えあい」の実践を学ぶため、広島県安芸高田市川根振興協議会辻駒健二会長をお招きし、過疎・高齢化、地域の存続の危機に立ち向かう住民自治組織の活動を通じた基調講演のほか、道内の保健師、社会福祉協議会、議員それぞれの実践報告から集落コミュニティの支えあいを考えました。参加者は講師を含め53名。



□基調講演

『地域住民が担う集落の支えあいの可能性』

講師：辻駒健二氏（広島県安芸高田市 川根振興協議会 会長）

【講師略歴】

1944年、広島県高田郡高宮町川根に生まれる。就職でいったん川根を離れるも、数年後高宮町（現在の安芸高田市）にUターン。川根に戻った時、この地でずっと暮らしていくためには何が必要か考えたという。以後、「自分一人で生きているのではない、地域の中で生かされているのだ」ということを心に刻み日々を過ごす。1992年からは、川根振興協議会会長を務め、「誇り」と「夢」の持てる地域づくりに向け、日々奔走し、地域の仲間と共に「いい汗」を流している。

□シンポジウム

『集落コミュニティの支えあい』

・シンポジスト：

小松亜紗子 氏（鶴居村役場 住民課こども保健推進係 保健師）

谷 一之 氏（下川町議会 議長）

藤江 紀彦 氏（登別市社会福祉協議会 事務局長）

・コーディネーター：

北海道地域福祉学会 会長 杉岡直人（北星学園大学社会福祉学部教授）

副会長 北村久美子（前旭川医科大学医学部看護学科教授）

・コメンテーター：

辻駒 健二 氏（広島県安芸高田市 川根振興協議会 会長）

シンポジウムでは高齢化や人口減少、後継者・担い手不足により共同作業や共同活動の維持が困難となっている集落に対し、コミュニティ機能の強化を図り、住民同士や集落での支え合いや自主的な地域づくり活動が継続的に行われることが必要な視点から、北海道内の実践報告をいただき、集落コミュニティの支えあいを検討。さらに、大会終了後には交流が開催され、会員相互の親睦を深めました。



□実践・自由研究発表一覧（敬称略）

【実践発表】

- 1) 私たち一人ひとりが安心して暮らせる地域づくりのために
～新ひだか町三石における地域福祉活動実践～
中川 睦季（新ひだか町社会福祉協議会三石支所）

【研究発表】

- 1) ひきこもり地域拠点型アウト・リーチ支援事業
～ひきこもりピア・サポーターの役割を考える
田中 敦（特定非営利活動法人「カーボスト・フルト」相談ネットワーク）
- 2) 知的障害者の行動の自由に関する研究
～北海道内のグループホーム入居者の外出の実態の意向から
武田 太郎（北翔大学大学院人間福祉学専攻）
- 3) わが国における高齢者向け住宅の発展とシルバーハウジング研究の動向
馬場 康徳（立正大学大学院）
- 4) 生活支援相談員に対する支援のあり方とその手法に関する調査研究
～東日本大震災研究調査より～
篠原 辰二（特定非営利活動法人 FacilitatorFellows）
佐藤 大介（特定非営利活動法人 FacilitatorFellows）
岡部 和夫（特定非営利活動法人 FacilitatorFellows）
杉岡 直人（北星学園大学社会福祉学部福祉計画学科）
岡田 直人（北星学園大学社会福祉学部福祉計画学科）
- 5) 教育型コミュニティ・ソーシャルワークとしての学習支援活動
～東日本大震災における子どもの居場所づくり活動「学びの部屋」の実践から
浅石 裕司（一般社団法人子どものエンパワメントいわて）
- 6) 東日本大震災における学生ボランティア活動の実践事例研究
～いわて GINGA-NET の福祉的支援活動を通して～
佐藤 大介（特定非営利活動法人 FacilitatorFellows）
篠原 辰二（特定非営利活動法人 FacilitatorFellows）
浅石 裕司（一般社団法人子どものエンパワメントいわて）
山本 克彦（岩手県立大学社会福祉学部福祉臨床学科）
八重樫綾子（特定非営利活動法人いわて GINAG-NET）



■北海道地域福祉研究第17巻の投稿募集

北海道地域福祉学会誌「北海道地域福祉研究 2013 年 第 17 巻」の投稿を募集します。投稿を希望(エントリー)される方は、2014 年 2 月 20 日(木)までに「会員番号、氏名、電話番号、E-mail」の情報を添えて事務局まで、E-mail・FAX・ホームページメールフォームにてお知らせください。

尚、期日までに投稿エントリーをされた方は、編集投稿規程・執筆要領をもとに 2014 年 3 月 10 日(金)まで【当日消印有効】に事務局宛まで論文を送付下さいますようお願いいたします。詳しくは開催要項並びに本会ホームページをご覧ください。

■業務委託や講師等の派遣調整を行います

本学会では、学会役員及び会員の研究活動を社会還元するため、各種の業務委託や講師派遣等を実施しています。事務局において調整やご相談に応じておりますので、各方面への周知協力並びに事業へのご協力をお願いいたします。

■事務局より

一 会員状況（2013 年 9 月末日現在）

【新規入会（敬称略、入会順）】

中山美佐子（なかやま病院）、武田太郎（北翔大学大学院人間福祉学専攻）、池内伸明（上川町社会福祉協議会）、飯沼巖 以上 4 名。

【退会（敬称略、氏名のみ掲載）】

なし

【現会員数 111 名】

一 学会費の納入をお願いします

学会規約に基づき会費は年額 5,000 円、会費を 2 年以上滞納した会員は理事会にて退会したとみなすことができると定められておりますが、より多くの会員の皆様と共に北海道の地域福祉研究を推進するため、会費の納入にご協力をお願いいたします。

ご連絡がない状態が続きますと退会となり、再び会員登録を行う際には未納分の納入をご依頼することとなりますので、ご注意願います

一 会員情報の変更をご連絡ください

新年度に入り、勤務先や所属先、役職等、会員情報登録に変更があった場合は、事務局にご連絡をお願いいたします。会員情報の変更用紙は学会ホームページよりダウンロードが可能です。

■おしらせ

今年度実施予定の第 3 回定例研究会は都合により中止させていただきます。会員皆様並びに関係者の皆様にお詫び申し上げます。新年度の定例研究会は新年度 4 月中旬に開催予定です。

□事務局（事務局員：篠原・佐藤）

〒004-0022 札幌市厚別区厚別南 2 丁目 7-28

一般社団法人 Wellbe Design 内

TEL：011-801-7450

FAX：011-801-7451

Eメール：info@hacd.jp

URL：http://www.hacd.jp